

イノシシはなぜ町におりてくるのか

～昔の焼き畑農業に学ぶ～

津奈木町立津奈木中学校 2年 林田 真帆

1 研究の動機

近年イノシシやシカなどの動物が山から下りてくる被害が増加している。動物が山から下りてくるのは「食べ物が山からなくなっているから」という理由が本当なのだろうか。

私は昨年「オオスズメバチが減っている理由とたき火の関係性」について研究をした。今回の野生動物が町に下りてくる理由についても、昔とは違いたき火をしなくなったことに関連があるのではないかと考え、研究することにした。

2 研究の方法

- (1) 本やインターネットでイノシシの生態と被害状況について調べ、山から下りてくる理由の仮説を立てた。
- (2) 山が変わった（焼き畑農業をしなくなった）背景について津奈木町の歴史とともに調べた。
- (3) (1)(2)より、仮説の検証を行う実験（マツが生息する土壌に関する実験）を行い、研究の考察をした。

3 実験（津奈木の山で様々な箇所から土を採取しその成分を調べた）

| | ① 堆肥 | ② 落ち葉下 | ③ 枯れたマツの根元 | ④ 草むらA | ⑤ 草むらB (加熱) | ⑥ 草をつんだ堆肥 | ⑦ 草むらB* さらに加熱 | ⑧ 元気なマツの根元 | ⑨ 化成肥料の畑 | ⑩ 草むらAの上でたき火 | ⑪ 牛糞をまぜた土 |
|------|---------|-----------|---------------|-----------|-------------------|--------------|---------------------|---------------|-------------|-----------------|--------------|
| pH | 5.5 | 6.0 | 4.5 | 6.0 | 6.5 | 4.5 | 6.0 | 5.0 | 4.5 | 7.5 | 6.5 |
| 窒素 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| リン酸 | 25 | 25 | 10 | 10 | 25 | 25 | 10 | 10 | 25 | 25 | 50 |
| カリウム | 10 | 10 | 5以下 | 10 | 75 | 25 | 10 | 25 | 25 | 75 | 75 |

4 結果の考察・まとめ

山は弱酸性～酸性の土壌になっており、植物が育ちやすい環境にあることが分かった。（草が積まれて堆肥になると弱酸性になる。焼き畑農業をしなくなったことで草木灰はできなくなり、酸性の土壌になってしまったということである。さらに別の実験より、ミミズなどの生き物も酸性の土壌の方が活発に活動するということを確認した。）このことより、イノシシが食べる植物（食べ物）は山には十分にあると考えられる。

5 研究のまとめと感想

現在、津奈木の山は竹が急増し、家のすぐそばまで藪となっているため、イノシシはタケノコなどを求めて藪に入り、すぐ町まで下りられる状況にある。（実験より、山は植物が育ちやすい弱酸性の土であり、さらには動物も育ちやすい環境にあることが予測された。）

イノシシの個体数が年々増加傾向にあるのも餌が豊富であることが原因と考えられる。イノシシが町に下りてくる理由は、その豊富な餌場がさらに広がり、結果、町まで下りてきやすい環境ができつつあることが原因だと分かった。あなたのすぐそばまでイノシシはきているかもしれない。